

令和8年10月23日

産官学金連携組織 始動！ ふくしま ゼロカーボン × 資源循環経済プラットフォーム ～ キックオフイベントを開催します ～

市内における動脈産業（生産・運輸・販売）と静脈産業（回収・再利用・再資源化）が中心となり脱炭素と資源循環の取組を推進するため、「ふくしま ゼロカーボン×資源循環経済プラットフォーム」を発足いたします。

発足にあたり、下記によりキックオフイベントを開催いたします。

記

1. 日時 10月26日（月） 午後1時00分～午後3時00分

2. 場所 キョウワグループ・テルサホール 大会議室「あぶくま」

3. 内容

（1）プロローグ プラットフォーム発足にあたって

福島市長 馬場 雄基

（2）基調講演 我が国における循環経済施策の動向について

環境省 環境再生・資源循環局 資源循環課 課長補佐 ^{ふくだ ともや} 福田 朋也 様

（3）実践事例の共有

① 地域の未活用素材を、売れる商品に変える - 福島から始める、資源循環ビジネスのつくり方 -

株式会社ODORI J I ファウンダー・取締役 ^{こはら とおる} 古原 徹 様

② 脱炭素を企業成長につなげていくための取組みについて

信金中央金庫 サステナブル金融推進グループ 調査役 ^{すずき ゆうや} 鈴木 友也 様

（4）ライトニングトーク 自社の技術シーズと課題について

（5）交流会 参加企業・団体によるテーマ別意見交換

4. その他

- ・参画企業等は、キックオフイベント以降、市ホームページ等を通じ随時募集します。
- ・参画にあたっての費用負担はありません。

担当： 環境政策課 ゼロカーボン推進係
課長 穴戸 課長補佐 山岸
電話 024-525-3742（直通）

産官学金連携組織
始動！

ふくしま ゼロカーボン × 資源循環
経済プラットフォーム



Zero-Act

ふくしま

Fukushima Action Platform
for Net-Zero and ZERO-waste Economy

つなぐ技術で
ONE PLANET, 目指そうゼロ、
まわそう資源。

FUKUSHIMA
ACTION



産官学金連携組織 始動！



記者会見資料

福島市
FUKUSHIMA CITY

ふくしま ゼロカーボン×資源循環経済プラットフォーム

プラットフォーム発足の背景



企業が抱える悩み

取引先やサプライチェーンとの
連携が足りない

パートナーが見つからない

人材・情報・ノウハウが不足

専門機関等の知見が必要

自社単独では資金が足りない



社会の潮流

【市場規模】

- ・資源循環(サーキュラーエコノミー)関連市場は、2030年までに80兆円以上、2050年度には120兆円規模へ拡大が見込まれている。
(循環型社会形成推進計画(R6.8))

【政府方針】

- ・循環経済への移行加速化パッケージ(R6.12)
- ・資源循環行動計画(R8.4)
- ・150兆円超の官民協調によるGX投資 等

【これまでの市の取り組み】

- ・ゼロカーボン資金融資制度
- ・創業支援事業 等



産官学金連携組織 始動！



記者会見資料

福島市
FUKUSHIMA CITY

ふくしま ゼロカーボン×資源循環経済プラットフォーム

目指す姿（目的）

- 2050年度脱炭素・資源循環型社会を見据えた、地域産業競争力の強化
- 地産地消型事業モデルの社会実装推進による新たな産業の創出

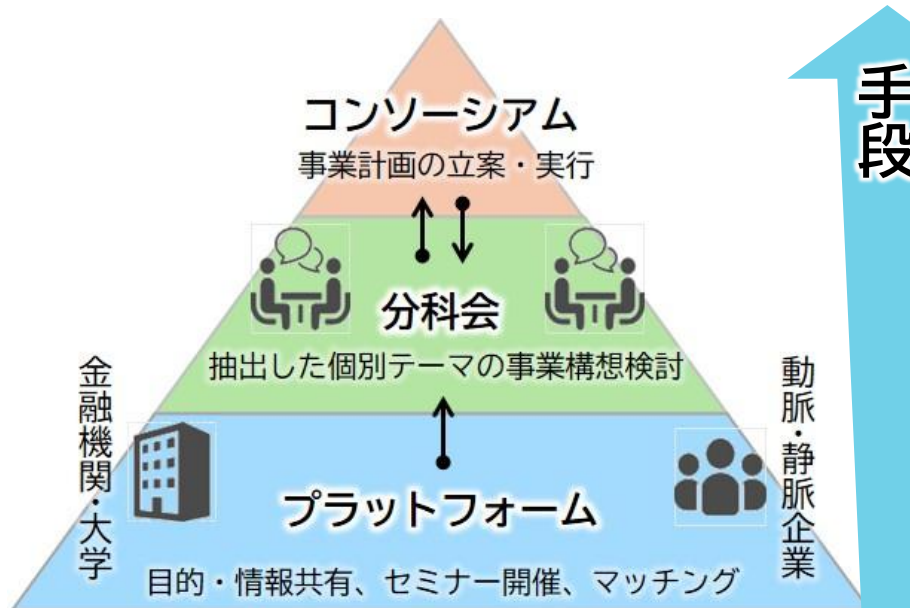
目標

（短期）個別テーマによる分科会を設定し技術シーズを検討

（中長期）先導的な実証プロジェクトの立ち上げ（2030年度以降社会実装目標）

創設時企業・団体（34企業・団体）

建設・製造業	8社
電気・ガス・熱供給業等	2社
情報通信業	2社
運輸・郵便業	6社
卸売・小売業	2社
金融・保険業	3社
廃棄物処理・リサイクル業	5社
研究機関・支援団体	6団体



手段

続ける

「一人ではない」という実感を力に、継続的な連携の場にする

【熱量向上】

高め合う

他社の技術・事例に触れ、自社の経営・技術力を引き上げる

【企業力向上】

つなぐ

業種を越えて廃材・データ・技術をやり取りできる関係をつくる

【共通言語化】



産官学金連携組織 始動！



記者会見資料

福島市
FUKUSHIMA CITY

ふくしま ゼロカーボン×資源循環経済プラットフォーム

キックオフイベントを開催します



10月26日（月）



13:00～15:00



キョウワグループ
・テルサホール

大会議室「あぶくま」

プロローグ プラットフォーム発足にあたって

福島市長 馬場 雄基

第1部 基調講演

我が国における
循環経済施策の
動向について

環境省資源循環課
ふくだ ともや
福田 朋也 様



第2部 実践事例の紹介

① 地域の未活用素材を、
売れる商品に変える

株式会社ODORIJI ^{こはら とおる} 古原 徹 様

② 脱炭素を企業成長につなげて
いくための取組みについて

^{すずき ゆうや} 信金中央金庫 鈴木 友也 様

第3部 ライトニングトーク

自社の技術シーズと課題について

第4部 交流会

テーマ別意見交換

※参画企業等は、キックオフイベント以降、
市ホームページ等を通じ随時募集します。
※参画にあたっての費用負担はありません。